



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会報

No.27 October 10, 2011

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

アウシュヴィッツ訪問

宮本 倫好



この夏ポーランドのアウシュヴィッツを訪ねました。私は昔からユダヤ人問題に関心があり、ヒトラー時代のユダヤ人

大虐殺の跡をみて、ヨーロッパの伝統的反ユダヤ主義についてじっくり現地で考えてみたい、と思っていたからです。

第二次大戦中、ヨーロッパでナチスに虐殺されたユダヤ人は総数 600 万人。このアウシュヴィッツだけで 150 万人に達したそうで、20 世紀最大の負の遺産として、世界遺産に指定されています。

私は若い頃読んだ『夜と霧』を再読しました。ユダヤ人の心理学者ヴィクトール・フランクルが、収容体験を非常に冷めた筆致で綴ったものです。

毎日が飢えと暴力と死に直面する生活の中で、「さすがユダヤ人」と改めて感銘したのは、ユーモアを忘れなかったという記述でした。自分を失わないために、筆者は毎日義務として、お互い最低一つは笑い話を披露し合おうと仲間と合意します。

例えばこんな話です。収容所のスープは非常に薄いのですが、底に野菜がたまっているので、担当のカポ(ドイツ側に指名されたユダヤ人)に媚を売り、「底の方を」と卑屈に頼むのです。これが口癖になり、釈放されてからもパーティでスープが出れば、つい「底の方を」というせりふが思わず口をつく...

ほんのわずかでも残酷な環境から距離を取り、

状況に負けないために、本来人間に備わっているはずのユーモア精神を取り戻そうというのです。確かに、笑いこそ絶望の解毒剤であり、精神の高度な営みです。しかしユダヤ人以外にはなかなか出ない発想でしょう。

東北大震災後の被災者の行動は、実に我慢強いうえに整然たるものがあり、世界の賞賛を浴びましたが、ユーモアで耐えるという雰囲気には程遠いものでした。そんなことを匂わそうものなら、「不謹慎な」という一言で片付けられたでしょう。われわれはひたすら愚直に、困難に立ち向かうのが似合う国民なのです。

アウシュヴィッツの慰霊碑の前には、イスラエルの若者の一団が、体に国旗を巻きつけ、苦難に死んだ同胞を偲んで、慰霊の歌を歌いながら涙を流していました。これはこれで異教徒の私も、非常に胸を打たれる光景でした。

しかし、そのイスラエルの中東での行動は、アラブの側からすれば相当理不尽でしょう。「人類は絶えず自己の被害を正当化して報復の連鎖を生んだ」と歴史家ティモシー・スナイダーはいいます。ヒトラーは第一次大戦のドイツ敗戦は、ユダヤ人とソ連の共謀によるとして、ユダヤ人絶滅を正当化し、アメリカは真珠湾を原爆投下の口実に使いました。9.11 とアフガン攻撃も同じです。すなわち、自分を被害者として宣伝し、報復を正当化する **victimhood** という心理です。アウシュヴィッツの悲劇は余りに重いものですが、こうした心理的連環をどう絶つかは今後の世界の課題でしょう。

第 26 回研究発表会

ジョーク・コンテスト観戦記

相原悦夫MC

久しぶりにコンテストを司会者として進めるに当たり、数々の興味深い作品を前にやや緊張感が感じられた事と、今回当社交界へデビューの参加者もあり、ウォーム・アップを目的に、“Which situation is the worst?” というフォト・ジョークをご紹介しました。実際には考えられない奇想天外な写真に、会場は忽ちジョーク愛好家の場らしい雰囲気となりました。



全 16 作品のうち、その解釈の多様さと男女の駆け引きの妙を短い会話で綴った作品 No.14

は出色で、当日一番活発な議論を呼びました。準優秀作品となり、そのキーワードは **splits** で、当会の主流が垣間見えた感がありました。

コンテストでは同点で字数が 3 語多かった事と挿絵が絶妙だったこともあり、最優秀作品は No.4 となり、出題者の私としては赤面モノでした。医師の、日に三度の食事(meals)というアドバイスを三人の男性(males)と取り違えたため、**You look so weak and exhausted** となったというお話です。

また、第三位作品 No.3 では、真空包装してある “*Twenty Ways to Mate: Translated from the French with Original Illustrations*” という微妙なタイトルの本が飛ぶように売れている事に店員が驚いている、実際にはチェスの教本なのに！ やはり、艶系モドキでした。

入賞は逸しましたが、日常の出来事が観点を変わると楽しいジョークになる多くの作品が提供されました。

「いつも“Fair Lady”と女性に話しかける男性は、“Fare, Lady”といって料金を徴収しているバスの運転手だったのでは?」、「心臓に発毛を促す長寿薬が某国の居座り総理大臣に関する研究からホラ(法螺)製薬により開発された。」、「5年間で2百万(ドル?)貯め込んだ国会議員が調査の対象となった、議会はなぜそんなに長くかかったか知りたがっている。」、「狂犬病の犬に追い掛け回されても冷静(cool)でいると思っていたら、実は恐ろしくてガタガタ震えて(chattering)いた」、「Remember ; Marriage is the number one cause of divorce.」や、“We always hold hands. If I let go, she shops.”は単純明快、「鮫よりも早く泳がなくても良い、後ろの奴より早ければよい。」も納得でした。

また、“What’s pink and hard in the morning?” と何か意味深な質問をしたら、“The Financial Times crossword puzzle.”が落ちで、ガッカリ。“THE WORSE DAY”も現在の不況下ではあり得る話かも。義理の妹(姉)に子供が生まれた性別が不明なので、自分が叔父になるのか、叔母になるのか不明(a bit confusing)。奥さんが3週間のダイエット中、どれ位減った(lost)の?と聞いたら、2週間!?

難解作品は、**On brass fishing lure with a three-pronged hook on the end: Harmful if swallowed.** で、brass をどのように解するかで状況は複雑になり、魚釣りが女漁りの戒めになりそうですが、擬餌針を飲み込んだりしないよう注意を喚起する product liability 回避のための警告文と取る意見が大勢でした。

最後は「聖書上の偉大なる財務官は自分の資産は船積みし、他は清算したノアだった。」

ということで、当会の品格を何とか維持しつつ、笑いのうちに一時間があつという間に過ぎました。皆様の活発なご参加に感謝します。

第 27 回研究発表会

ゴルフの英語とジョーク

深澤 満穂

1) ゴルフの語源

G=Gentlemen, O=Only, L=Ladies, F=Forbidden
諸説あるが、私はこれが最も覚えやすいと思う。

2) ゴルフの功罪と我が国のゴルフの特徴

先ず功。ゴルフは楽しく健康的だ。快晴微風の



下、緑の中、白球を追って気がつけば 6-7km 歩く。風呂上りのビールも応えられない。次に罪。この球技、一朝一夕には進歩しない。又我が国では昼飯を挟んでやるから一日仕事。会員ならともかく、ゲストだとやはりかなりのお金がかかる。

我が国の最も大きな特徴は、ゴルフとビジネスが直結してきたこと。法人会員、接待ゴルフ、宅急便、ホールインワン保険、高額な会員権相場等、皆我が国の発明。諸外国に例がない。嘗て大宅壮一氏が「緑の待合」と喝破した如く、異常とも思える接待ゴルフが栄えた。

3) 乱れているゴルフの英語

シングルとはハンディキャップが一桁のことだが、我が国ほどプレーヤーがこれに拘る国はない。有名テレビ局で「目指せシングルプレーヤー」などと言っている。外人には先ず通じない。

第一球を最初に打つ特権も「オナー」でなく、かなり多くの人々が「オーナー」などと発音している。パー4のことを「ミドルホール」などと言うのも変。アナウンサーも 10 までは英語でも 11 になると「ジュウイチアンダー」などと日本語が混ざる。

4) ゴルフの隠語

淡谷のり子（マサカ届かないと思っているグリ

ーンに乗りそうになった時）、夜中の電報（戸を叩く=10 を叩く）、良家のボッチャン（グリーンにホールに僅か届かず=少し足りない）、お寺の鐘（ゴーン=5 オン、第 5 打でグリーンに乗る）、大概ウッツ（第 2 打以降をアイアンでなくウッドで打つ人）、サムタイムス・スニード（帽子、スタイルは一人前だが良いショットが時々の人）、貧乏人の晩酌（=1 本だけ、最後になってやっと 1 発良い当たりの出た人）

4) ゴルフから出た英語

stymie (=妨害), 19th hole (=bar), par for the course (=よくある事), dogleg (曲がっているホール)

5) ゴルフのジョーク

① ゴルファーとは、フォー (fore!=4) と叫び、カードには 5 と書くが、実際には 6 打を要した人。

② 先輩が後輩にゴルフの手ほどき。先輩：先ず正しいアドレスをしなくてはならぬ。後輩；球に向かって「Hi, ball!」（米国のテレビで）

③ バンカーからどうしても脱出できぬプレーヤー、通ったプロに「こんな時は何番のクラブを使うのですか」。プロ「手の 5 番かな」。

④ 夫婦についてのキャディー。「奥様、こんなに上手なご婦人は初めてです」。不調であったご主人「おいおいそれはないよ、彼女を教えたのは俺なんだぜ」。キャディー「ああそれならご主人は教え上手なのね」。

⑤ 年寄りの多いゴルフクラブでの話。夏の炎天下、勇んで出たが、5 ホール終えて青息吐息、茶屋で休憩。「本日はこれで中止」と衆議一決、キャディーにカートを依頼、待つこと 5 分。キャディー「お客様、お迎えが参りました」。

⑥ スコットランドのさるゴルフ場に「75 歳で常に自分の年齢と同じ 75 で廻る」会員が居るとの噂を聞いた。帰りがけに支配人がそっと教えてくれた。「本当ですよ、彼は何時も独りで来てプレーし、75 ストローク打ったら、そこでやめて帰るのです」。

どうぞよろしく =新入会員ご紹介=

佐藤勝衛さん (横浜市戸塚区)

① **【私にとってジョークとは】**

興味はありますが、中々の難物だと思っております。ユーモアと混同しています。冗談が諷刺であつてもよし、皮肉と採られても話者の意図が別な形で表現され、意味深かつ表現力豊かとなるなら、私にとってはそれがジョークとなります。

② **【お気に入りの英語のジョーク】**

最近友人から送付の一品です：

Test if you are good in Math. Answer the following:

How do you write 4 in between 5?

Answer: Chinese : Is this a joke?

Japanese : Impossible!

American : The question's all wrong!

British : It's not found on the Internet.

You : ?????

And last comes the Indian

Indian: F(IV)E.

舟崎正敏さん (東京都練馬区)

① スパイスのようなもの。

② A Russian man walked along an avenue in Moscow saying in a loud voice "Gorbachev is a big fool." He was immediately arrested by a secret police and was sentenced to five years' hard work in Siberia because of two crimes.

One is insult to the top man of the nation. The other is leakage of the top secret of the nation to the public.

上記は東欧の人から聞いたジョークです。ソ連共産党崩壊が近い頃です。そんなことを言っているのかと尋ねたところ全然問題ないと。

ソ連がいかにかに東欧諸国から嫌われていたかということかと思えます。またその頃ソ連の力が弱くなっていたことのあらわれでありましょう。

第28回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：11月19日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room
(クオリティ(株) 6階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。地図は、
<http://www.quality.co.jp/> どうぞ。
- プログラム
 - ① 研究発表「ジョーク拾いは英字新聞から—今朝も思わず笑い読み」(仮題)
草野 淳 会員
 - ② 第10回ジョーク・コンテスト
司会=花岡 蔚 会員
- 参加費：会員・非会員とも500円。
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で交流会を開きます。こちらにも、どうぞご参加ください。
問合せ先：renraku@eigojoker.com

第10回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
 1. 出題は、**お一人一題**とします。
 2. 長さは、一題 **30 WORDS 以内** とします。
(評決が同数となった場合には、**語数の多い方**を上位とします。)
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」やイラスト・写真などを添付してください。
 4. 当日出席できない方も、応募できます。
 5. コンテストは、11月19日(土) 午後の、研究発表会で行われます。(司会=花岡 蔚 会員です。)
 6. 結果は、*We, Jokers* No.28 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り：2011年11月1日(火)

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 第27号

発行日：2011年10月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル
クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com